

②瀬長島まちあるき

日時：平成 27 年 12 月 12 日（土）10：00～11：30

参加者：24 名

■プログラム

9:50	瀬長島 展望駐車場集合、説明
10:00	瀬長島まちあるきスタート(ガイド 赤瓦ちょーびん氏)
11:10	ガイドへの質問タイム
11:30	終了

■瀬長島まちあるきの様子

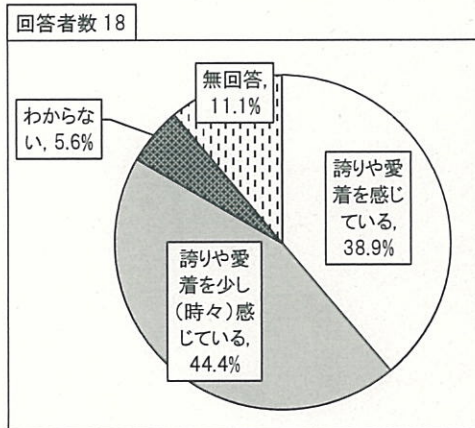


■瀬長島の代表的資源一覧

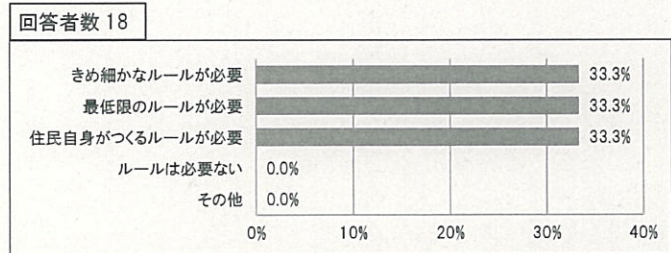
代表的資源	内容
①豊見城の発祥の地	アマミキヨが降りたという伝承があり、豊見城の発祥の地とされています。
②瀬長グスク	前まではグスクの遺構が残っていましたが、米軍に強制収容され、地形も大きく変わってしまいました。瀬長島の人々は、グスクを東西にわけ、東(アガリ)グスク、西(イリ)グスクと呼んでいました。高さは今より高かったといわれています。
③子宝岩	昔は那覇をはじめ遠方から子宝岩を訪ねに来る夫婦などがいました。子宝岩は3～5mくらいある大きな岩で、子どもたちがのぼって遊んでいました。石がたまと子どもたちが登って掻き出していたそうです。
④海中道路	道路がない時代は、満潮のときはサバニ(船)、干潮のときは徒歩で渡っていました。お手製の竹馬で渡る子どももいたようです。
⑤組踊『手水の縁』	組踊とは、せりふ、音楽、所作、舞踊によって構成される歌舞劇であり、首里王府が中国皇帝の使者である冊封使を歓待するために、踊奉行であった玉城朝薫(1684～1734)に創作させました。

■参加者アンケート結果

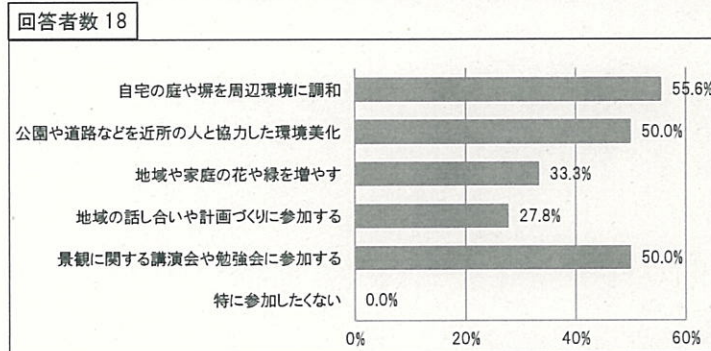
問1.豊見城市の景観についてどう感じますか。



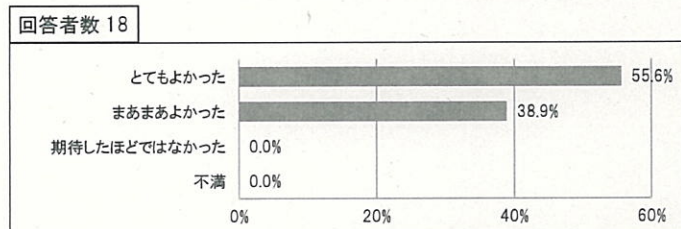
問2.今後、地域の良い景観づくりには何が必要と感じますか。



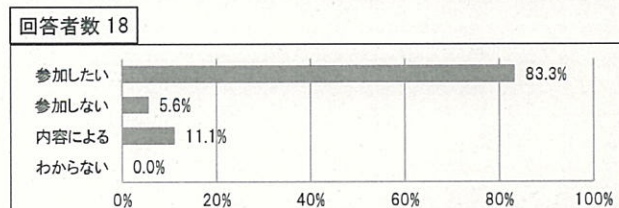
問3.今後、どのような景観づくりに取り組みたいと思いますか。(複数回答)



問4.今回のまちづくり塾(宇保栄茂まちあるき)に参加していかがでしたか。



問5.今後もこのような“まちづくり塾”があれば参加したいですか。



問6.今後のまちづくり塾について、ご自由なご意見をお聞かせください。

- ◆思っていた以上に話題豊富な島であったのだと感激しました。ありがとうございました。朝敏の話はとても興味もった。
- ◆ガイドのちょーびんさんの話し解りやすく楽しく散策しました。いろんな組踊の話も聞けて、以前に観たこともあったので身近に感じました。とても良かったです。ちょーびんさんありがとうございます。
- ◆地域の文化財を見直したい。
- ◆今回も大変勉強になりました。話しをよく聞きたいので、子ども連れの方よく管理するよう注意事項に入れて欲しい。
- ◆景観を守る為に、一定のルールが必要だと思いました。
- ◆どうもありがとうございました。最近の事しか知らなかったのですが、いろいろと変化してきたんですね。あっちこちら歩いて気づくのですが、沖縄って戦争でいろんな資料とかがなくなっているんですね。
- ◆ガイドのプラスαの話がおもしろい。
- ◆ガイドの声が聞こえづらい箇所がいくつかあった。
- ◆飛行機の音が大きすぎて話しが聞き取れないことが多々あり。久しぶりにきてホテルが建ち地中海風らしい景観。沖縄らしさが欲しい。
- ◆沖縄県では景観保護条例を 20 年前くらいにつくったがその後その成果等を聞かない(取組みも含め)。豊見城では計画策定後、継続的な対応が必要。
- ◆古い集落のシーサー、以前からある各村々の伝統的行事等も参加したい。
- ◆豊崎の街路樹は緑一辺倒でつまらない。特に、ガジュマルの植栽は街路には合わない。今からでも「花木」に植え替えるべきである。
- ◆瀬長島は小さい頃からよく来ていたのですが、瀬長島の歴史などはわかりませんでした。今回の説明で小さな島ですがたくさんの歴史があることに気づきました。普段歩かない場所を歩いてみると、普段見ることの無い景色を見ることができ、新鮮な気持ちになりました。